

高橋竹迷

たけなほ

漢詩人、畫家。

明治十六年六月、二十五日岐阜縣生れ

(一八三三)。

本名定坦(坦と修す)。曹洞宗大學中退後、一松學舎漢

文學部卒。更に福井學園の詩と、小室翠雲の畫を學ぶ。清光寺住職、

總持寺監院祕書、曹洞宗會議員等を経、正福寺住職を務めた。

著書に、『實驗の因縁』(大正二年一月二十五日鴻盛社)、『山水と人

物』(大正二年十月、二十日鴻盛社)、『白隱禪師言行録』(大正五年

一月一日東亞堂書房)、『修養』(禪話)『休奇行録』(昭和十年十二月十八日

玄洋社)、『隱元・木庵・即非』(昭和十五年二月、二十日アトリ社

「書道文庫」)等。

